

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和06年06月19日(水)

事務事業		農業集落排水施設管理運営事業		担当課	下水道工務課	担当係	集落排水係	管理番号	43311
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	都市整備の行き届いたまちづくり	根拠法令 個別計画等	浄化槽法、水質汚濁防止法				
	小項目	2	水の安定供給と下水処理の適正化						
	主要プロジェクト								
事業概要		・農業集落排水管渠の定期点検を実施する。また、突発閉塞時に緊急清掃等対応する。 ・農業集落排水センター運転管理、メンテナンスを行うとともに、計画的な改築更新を行う。							
目的 ※何のために		・農業集落排水管渠の適正管理による下水の円滑な排除する。 ・農業集落排水センターの安定的な運転を確保し、汚水を適正に処理する。							
対象 ※誰・何を対象に		・農業集落排水管渠 ・農業集落排水センターの各設備							
手段 ※どのように		・管渠定期点検、突発的閉塞時緊急対応 ・設備の緊急度・重要度を判断し、迅速に修繕を実施							
成果 ※何を求めるか		・定期点検の実施と突発的閉塞発生時の緊急対応 ・要緊急修繕故障に対して修繕実施による設備の早期復旧							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・突発閉塞に対する緊急清掃実施等対応				・			
		・管渠定期点検				・			
		・処理設備の緊急修繕実施				・			
		・				・			
		・				・			
		・				・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	0	0	0	0		
	決算額	0	0	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
		一般財源	0	0	0		
人件費	従事職員数(人)	2.67	4.39	4.39	4.39		
	人件費相当試算※	21,011,718.00	35,164,625.00	36,704,351.00	36,704,351.00		
総事業費試算		21,011,718	35,164,625	36,704,351	36,704,351		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	管渠の閉塞発生件数	目標値	件							
		実績値		2.00	0.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		突発事項のため目標設定しない / 閉塞発生件数（緊急管清掃実施件数）							
	実績値の算出式									
活動指標 2	管渠の閉塞防止件数	目標値	件							
		実績値		1.00	1.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		閉塞の危険箇所の定期点検実施により閉塞を未然防止 / 管渠定期点検実施箇所数							
	実績値の算出式									
活動指標 3	処理施設要緊急修繕発生件数	目標値	件							
		実績値		54.00	42.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		突発事項のため目標設定しない / 緊急で修繕を要する故障等発生件数							
	実績値の算出式									
成果指標 1	処理施設緊急修繕対応率	目標値	%	100.00	100.00					
		実績値		100.00	100.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		突発故障の即時対応により安定運営を図る / 要緊急修繕故障発生件数／緊急修繕実施件数							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	過去の調査で汚水の滞留が確認された箇所を中心に点検を行った。また、施設維持管理業務受注者からの故障報告等を精査し、緊急を有する42件について修繕を行った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	過去の調査で汚水の滞留が確認された箇所を中心に点検を行い、清掃の必要性を判断した。また、機器故障発生に対して速やかに修繕を実施し、設備の早期復旧を図った。
			評価者 集落排水係長 町田賢人

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	管渠の定期的な点検を行うことにより、効率的な事務事業を執行することができた。また、集落排水センター維持管理業務受注者と情報共有して故障機器の修繕を行い、安定した施設維持のため、効率的に事務事業を執行することができた。 非常通報装置の無かった中継ポンプ場3箇所について、新たに通報装置を設置したことにより、業務改善と市民サービス向上になった。
			評価者 集落排水係長 町田賢人

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	農業集落排水施設管理運営事業	担当課	下水道工務課	担当係	集落排水係	管理番号	43311
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		老朽化が顕著である農業集落排水センターにおいて突発的に発生した設備故障への迅速な対応や管渠閉塞等による流下不全防止のため点検を実施し、汚水の円滑な排水に努めた。今後も継続して安定した汚水処理を行えるよう運営していく。					
		評価者	下水道工務課長 関口 勝				

上記を実施するための具体的な取組内容は？

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

